

楽問のススめ

番外編

「未来のモノサシ」



でも、「地球の年齢は46億年」とか「細胞核の大きさは1千分の1ミリメートル」と聞いても、なかなかピンと来ませんよね。

きっと、人間の心にあるモノサシが、限られた、小さなものだからだと思うのです。

たまの休みに露天風呂でボーっと空を眺めていると、晴れた日は特に、青空がどこまでも広く高く続いているように思えてきます。小春日和に海辺を散歩しながらふと目を上げると、波打ち際から遠い水平線までずっと海がつながっていて、まるで果てが無いかのようです。億年も、千分の1ミリメートルも測れない限られたモノサシだからこそ、世界の大きさ、自然の奥深さを感じて味わうことのできる感動。心の小さなモノサシは、人間らしく生きるために、とても大切なものだと思います。

心では測れないもの

でも、つい先日のこと、心のモノサシでは足りない、新しいモノサシが欲しい!と強く感じたことがあります。

暗い宇宙に浮かぶ、青い地球の写真を見たときです。10月4日に日本が打ち上げた月探査衛星「かぐや」が、月へ向かう途中で撮影したものです。



月から見上げる地球の大きさ(直径)は、地球から見た月のおよそ3倍。その表面にある大気と水の薄っぺらい層の中で、60億の人間を含む全ての生物が生きています。

宇宙に浮かぶ惑星・地球の映像は、この地球が、私たちの心のモノサシが感じるような広大で果て無き世界ではないことを、はっきりと教えてくれます。

ココロのモノサシ

「カップ麺が1年分当たる!」の「1年分」って何個でしょう? 「1年間に10キロも太っちゃった!」の「10キロ」ってどのくらいの重さでしょう?

人によって多少のズレはあるものの、皆さん「3日に1個食べる」として「これくらいかな」とか、「お米1袋分:こんな感じかな」と、だいたいの数や量を思い浮かべることができるのではないのでしょうか。



1年分は人によって違うとは思いますが: